



スピード感を持って全力投球

益城町長 西村 博則

新年、明けましておめでとうございます。

町民の皆様におかれましては、希望に輝く新年をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。また、日頃から町政発展のために貴重なご意見、ご支援、ご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

さて、一昨年「まち・ひと・しごと創生法」が施行されたことに伴い、地方はそれぞれの特徴を活かした自律的かつ持続的な社会の創生を求められています。本町では、その「総合戦略」の一つとして、津森地域を中心に町の活性化を図る「近代女子教育の発祥の地から発信する『ウーマンドリーム事業』」が地方創生の先行事例事業として、国の採択を受けました。この事業では「四賢婦人記念館」と連携し、隣接する古民家を改修して高齢者が子育ての相談を受ける場所や古民家レストランの設置など、その活用方針について町民の皆様方と一緒に考え、完成後は若い人や高齢者にも活用してもらうよう計画をしています。

地域づくりとしましては、町民の皆様が自ら祭りをを行い、地域に住む人たちとの交流を図る動きが出てき

ている状況から、防災組織立ち上げのきつかけづくりのためにも、町として応援していきたいところ です。さ

らには、健康寿命の延伸や増え続ける国民健康保険医療費の適正

化のために、地域の公民館を利用した健康体操を実施するなど、健康づくり事業に全力で取り組んでまいります。この事業により顔見知りが増え、ひいては、地域づくりにも繋がって行くものと信じております。

公共施設につきましては、現在の給食センターが老朽化し手狭になっている状況に加え、子どもたちの食の安全を守る観点から、アレルギー食などにも対応できる施設への建て替えを検討しています。

また本年は、行財政改革の一つとして、役場での各種手続きを「早く・わかりやすく」するとともに、1階フロアをバリアフリー化するなど、役場が来庁者にやさしく、親しみやすい場所になるようワンストップ化の改修も検討しています。

益城町は誇るべき地域資源、人的資源が豊富で、無限の可能性を秘め



ています。引

き続き「町民の皆様が

元気に笑いあえるまち」を目指し、
「オールましき」の体制で各種の事業について、スピード感を持って、誠心誠意全力で取り組んでまいりますので、町民の皆様には今後ともなお一層のご支援とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

今年は申年ですが、「見猿聞か猿言わ猿」ではなく、町民の皆様の現状をしっかりと見て、その想いや意見を聴きながら、町民の皆様はもとより、国、県や町外に向けて情報を発信していきたいと思っております。

新しい年が、町民の皆様の笑顔が溢れる年になりますよう、心からお祈り申し上げ、年頭のごあいさつといたします。

平成28年 新春